

研究実績・業績 2025年

■原著

なし

■総説

山下 洋：

アタッチメントとは何か？. 小児内科. 57(7): 852-857. 2025.7

山下 洋：

育児不安の定義と評価：その背景と社会的要因.

外来小児科. 28(2): 158-163. 2025.7

山下 洋：

前妊娠期から始める育児不安予防と包括的サポート体制の重要性.

外来小児科. 28(2): 164-168. 2025.7

山下 洋：

小児期逆境体験とアタッチメント. チャイルドヘルス. 28(9): 11-15. 2025.9

山下 洋：

乳幼児期から就学期への移行期のメンタルヘルス—Zero to Five のアップデートからみた子どもと家族のアセスメント—.

乳幼児医学・心理学研究. 33(2): 149-159, 2025

山下 洋：

特集にあたって. 精神医学. 67(10): 1311. 2025.10

山下 洋：

周産期メンタルヘルスとレジリエンスの科学 スコーピング・レビュー.

精神医学. 67(10): 1313-1320. 2025.10

山下 洋：

「患者から学ぶ」可傷性の場に留まること. 精神療法, 51(5): 687-689, 2025.10

山根謙一、香月大輔、山下 洋：

周産期メンタルヘルスとマルトリートメント 母子保健・児童福祉領域との連携. 精神医学. 67(10): 1381-1388. 2025.10

■著書

山下 洋 :

知的発達症(知的能力障害). 今日の診断指針 第 9 版(永井良三 総編集), pp1368-1370, 医学書院, 東京, 2025.2 (分担執筆)

山下 洋 :

スティグマを超えレジリエンスを育むパートナーシップへ.
周産期医療と“こころ”の支援__多様化する親子のはじまりを多職種で支える
(永田雅子編), pp182-195, 誠信書房, 東京都, 2025.5.10 (分担執筆)

山下 洋 :

特集 周産期メンタルヘルスとレジリエンスの科学 予防と回復を支えるエビデンスと実践. 精神医学(山下洋企画編集), 医学書院, 東京都, 2025.10 (分担執筆)

■学会発表／講演／セミナー等

今村要介、高田加奈子、松本美菜子、岩屋悠生、香月大輔、山根謙一、山下洋 :
当院を受診した 20 歳未満の患者における精神科診断および希死念慮の検討.
第 66 回日本児童青年精神医学会総会, 2025.11.15, 福井

香月大輔 :

シンポジウム 18 「社会的養護と児童精神科医療の連携について」
医療の立場から 家庭での養育を支援する児童精神科医療.
第 66 回日本児童青年精神医学会総会, 2025.11.14, 福井

香月大輔、山下 洋 :

日本産婦人科医会母と子のメンタルヘルスケア研修会「入門編」, 2025.11.30,
福岡

山下 洋 :

周産期メンタルヘルスと小児期逆境体験.
第 121 回日本精神神経学会学術総会, 2025.6.19, 神戸

山下 洋 :

精神力動の視点から見た森田療法の現在—思春期青年期臨床への適用と展開.
第 66 回日本児童青年精神医学会総会, 2025.11.14, 福井

山根謙一：

産後うつ等の早期発見・対応に向けて，日本産婦人科医会母と子のメンタルヘルスケア研修会「入門編」，2025.3.20，岡山

山根謙一：

児童青年期におけるアタッチメントの発達課題と支援について，大分市学校保健会総会，2025.7.10，大分

山根謙一：

妊娠期からのエジンバラ産後うつ病質問票の活用とフォロー方法について，宗像・遠賀ブロック地域保健師研究協議会，2025.8.15，福岡

山根謙一，吉田敬子：

日本産婦人科医会母と子のメンタルヘルスケア研修会「基礎編」，2025.11.30，福岡

山根謙一，早川洋，陶山寧子，香月大輔，斎藤万比古：

シンポジウム18「社会的養護と児童精神科医療の連携について」，第66回日本児童青年期精神医学会総会，2025.11.14，福井

岩屋悠生，高田加奈子，松本美菜子，今村要介，香月大輔，山根謙一，山下洋：

感覚プロフィールによる自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症の感覚特性比較，第66回日本児童青年精神医学会総会，2025.11.15，福井

■受賞

日本児童青年精神医学会 第66回総会 優秀演題賞（口演部門）

岩屋悠生：感覚プロフィールによる自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症の感覚特性比較